

施設長から～平成28年度決算報告～

今年の入梅は例年通り6月7日でした。気象庁の入梅宣言当日はひとしきり雨模様だったにも関わらず、それ以降は梅雨らしくないカラッと晴れた日々が続いていました。時には湿度が20%を切ることもあり、全国的には火災報道も多かったように感じられます。雨が少ないと水瓶の心配もしたくなりますが、一年を平均すると極端に降水量が減った年もないようなので今後、堰を切ったように雨が降り始めるかもしれません。すると逆に心配なのは集中豪雨による水災害となります。カラッとした天気は心地よいものですが、梅雨時期は適度に雨降りのほうがいろいろと余計な心配をしなくて済むようです。

さて、先日、厚生労働省が速報値として発表した人口動態統計によると、昨年(H28)生まれた子供の数は前年から2万8698人減って97万6979人と初めて100万人を割りました。一人の女性が生涯に産む子供の推計人数を表す合計特殊出生率は1.44と一昨年から0.1ポイント下がりました。二親から1.4人程度では人口維持はできません。合計特殊出生率は2.08が人口維持のターニングポイントで、実績は国が目標値として掲げる1.8にも程遠い数値です。一方、亡くなった方の人数は130万7765人で、生まれた人から亡くなった人を引いた差は33万人強となり、単純にその数の人口が一年間で減ったことになります。2025年問題は団塊の世代の方々が総じて75歳という後期高齢の時期に入る年です。それから5年後は当然ながら皆さんが80歳を迎えます。日本人の平均余命がおおよそ80歳から90歳とすれば2030年ごろから亡くなる方の人数も増加することが予測されます。国の試算では年間160万人以上の方がお亡くなりになるとしています。出生者数は減少の一途を辿っていますから今から15年後には年間90万人から100万人の人口が減っていくこととなります。毎年、広島市レベルの都市が消滅するのと同じようなものです。4年で400万人近くの減少は、戦争の時よりも激しい人口減少です。数字を考えただけでも空恐ろしくなります。今後、少子高齢は進展がさらに激しくなりますが、私たちにとって現時点で大きな課題は、介護分野の人手不足です。現在、平均余命と平均健康寿命の差は、性差こそありますがおおよそ10年です。つまり10年近くは何らかの手助けを受けなくては天寿を全うできないことを現状の数字は示しています。どうかその10年を短くすることで医療介護のニーズを減らしたいと国策は練られますが、圧倒的に増える高齢者の数によって、どうしてもまだまだ医療や介護の必要性は高まると思われれます。しかし、そこに従事する人が必要数に到達しないのです。当然、少子化が拍車をかけています。少しでも多くの若者が私たちの分野に興味を抱き、従事してくれなければ今の50歳前後以降の人たちは誰にも構われることなくひっそりと死んでいくこととなります。家族を当てできる世の中ではなくなりましたし、現状で家族を持たない中年世代はたくさんいます。世間との繋がりが、「金の切れ目が縁の切れ目」になる時代が目の前に迫っているわけです。介護職(3K(きつい・汚い・給料安い)のイメージを何とか払しょくしたいと思えます。私たちは仕事をしていてこれほど人間的価値を見いだせる仕事はないと自負しています。あとは少なくとも常勤者年収500万円、パートタイム250万円程度を支払うことができる収益が確保できる制度ならば「給料安い」のイメージも吹き飛ばせるでしょう。たとえば人件費率100%として、当法人で考えれば全職員200名強に充てて8億5千万円ほどの収益が必要です。ところが現実にはこのような収益を上げることができません。それでも介護資源は国民にとって必要な経費であることには間違いがなく、消費税を目的税として上げてでも社会保障費を確保して国民が必ずお世話になる介護分野への投資が必要ではないでしょうか？国策として人材を確保すべきです。増税は国民の負担が増え、国の考える中福祉中負担とはなりません、このままでは負担は多いけど福祉は存在しないという低福祉・高負担となってしまいそうです。

という憂いを踏まえ、今号は毎年、簡単決算報告の月となっていますので、以下に簡易決算表を計上いたします。

『平成28年度 法人全体の事業活動計算書』			(単位:千円)
勘定科目		金額	
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計	①	876,042
	サービス活動費用計	②	852,065
	サービス活動増減差額	③=①-②	23,977
	内、減価償却費		64,483
	内、国庫補助金特別積立金取崩額		△32,822
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計	④	8,878
	サービス活動外費用計	⑤	7,733
	サービス活動外増減差額	⑥=④-⑤	1,146
	経常増減差額	⑦=③+⑥	25,122
特別 増減の部	特別収益計	⑧	8,388
	特別費用計	⑨	8,392
	特別増減差額	⑩=⑧-⑨	△4
	当期活動増減差額	⑪=⑦+⑩	25,118
	前期繰越活動増減差額	⑫	1,207,351
	当期末繰越活動増減差額	⑬=⑪+⑫	1,232,469

例年に比べて収益構造が悪化している点は否めませんが、改正社会福祉法の施行(H29年4月1日)に伴い、全国に2万ほど存在する社会福祉法人には平成28年度決算を元に計算された余裕財産をもって地域の社会貢献事業に投資することが決まりました。当法人では今年度中に新しいグループホームを建設するために3億円ほど投資いたします。しかし、器はできてもそこで働く人の確保が確実ではありません。“なごみの郷”にかかわるすべての方に人財をご紹介くださるようご協力をお願いしたいと存じます。

最期に、「第16回なごみの郷夏祭り」を7月22日(土)に開催いたします。皆さん奮ってご参加ください。

平成29年6月25日 なごみの郷 松林克典

健康長寿には歯と口の健康が重要

歯科衛生士 山本 淳子

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を示します。

平成 22 年の報告では、平均寿命と健康寿命との間には男性で約 9 年、女性で約 13 年も開きがあるといわれています。多くの高齢者は寿命が尽きるまでに、何らかの健康上の問題で日常生活が制限された期間をすごしているということがわかります。

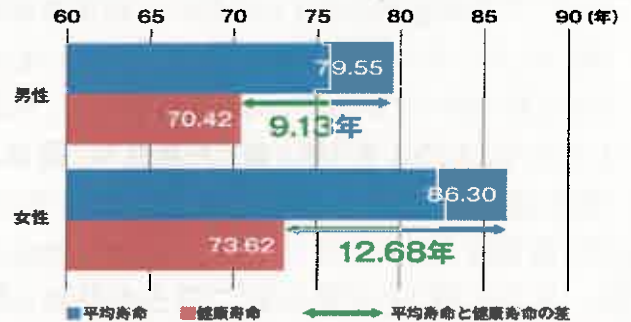


図1 平均寿命と健康寿命の差
資料：平均寿命(平成22年)は、厚生労働省「平成22年完全生命表」
健康寿命(平成22年)は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

一方、自分の歯がどのくらい残っているかを示す平均歯数は年々増加してきていますが、現在、平均値で 20 本以上保有する年齢層は、69 歳までとなっています。70 歳以降では、自分の歯が 20 本を下回っている方が多いことがわかります。

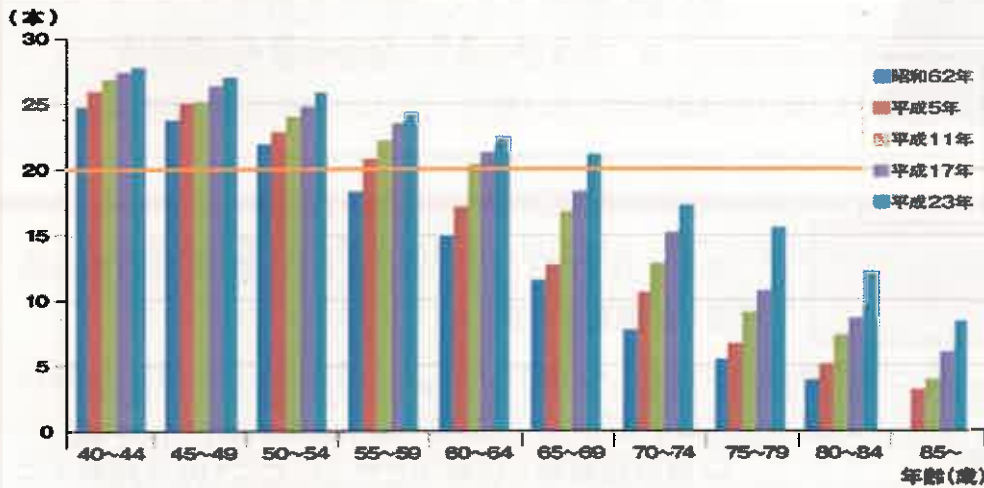
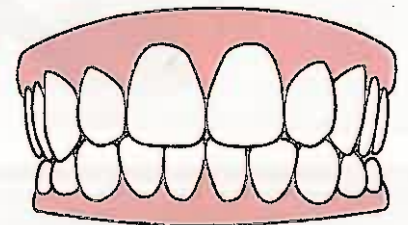
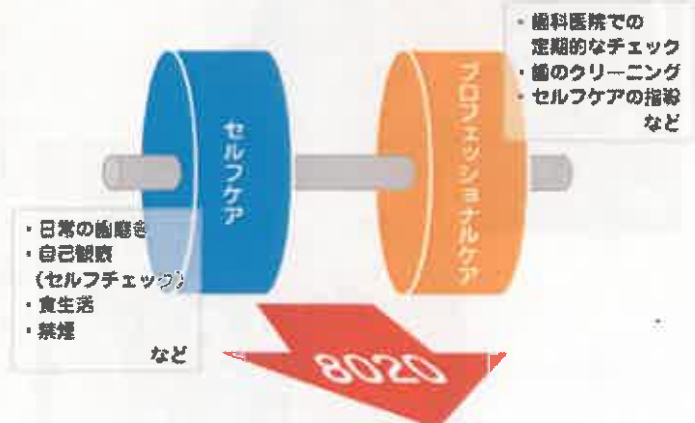


図7 年齢階級別平均現在歯数



【ハツハツハツハツ！】

歯の寿命は、長寿に追いついていないのが現状です。「80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保ちましょう」という『8020 運動』をご存知ですか？
親知らずを除く 28 本のうち、少なくとも 20 本以上の歯があれば、ほとんどの食べ物を噛み砕いて、美味しく食べられるといわれています。歯を失う主な原因は、虫歯と歯周病です。毎日のセルフケア(自分で行う歯磨き)の実施と歯科医院で定期的に行うプロフェッショナルケアを受けることで、歯を健康に保ち口腔を健全に維持していくことが可能となります。お口の環境を整えて、健康寿命を延ばしていきましょう。



手芸クラブ



書道クラブ



上木 フミエ様



箱崎 ミツコ様



中本 スミヨ様



三木 董様



華道クラブ

スタッフ紹介

社会福祉法人 正仁会の新しい仲間を
紹介します！

皆さま、先ずは顔と名前を覚えてくだ
さいね！

名前 松谷 敏洋 (まつたに としひろ)

担当部署／役職名： デイサービスセンターなごみの郷 可部 介護職

生年月日： 1991年3月29日

趣味／特技： スノーボード

座右の銘： 変わることを恐れるな



5月11日付でデイサービスセンターなごみの郷 可部に配属となりました。松谷敏洋です。私の長所は考える前に行動することです。面白いことを思いついたら、とりあえずやる。そして、やりながら調整していくタイプだと自分自身思っています。短所は、計画性がないことです。ですが、短所を克服するよりも長所を伸ばしていく事が人生をより良いものにするのだと考えています。

仕事を通して、様々なことに挑戦していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願ひします。

名前 和崎 純子 (わさき じゅんこ)

担当部署／役職名： デイサービスセンターなごみの郷 可部 看護師

生年月日： 1959年3月18日

趣味／特技： パズル

座右の銘： 前進あるのみ



私は、介護老人保健施設を退職した後、今年4月からデイサービスセンターなごみの郷可部で働いています。働く中で、上から目線のケアはせず、その人自身を知ることも大切な事だと思っています。人見知りをする性格ですが、まずは利用者様一人ひとりと真摯に向き合い、思いを大切にすることから始めていきたいと思ひます。そして、その方に合ったケアが出来るように頑張っていきますので、よろしくお願ひします

名前 村上 由里子 (むらかみ ゆりこ)

担当部署／役職名： 特養 看護師

生年月日： 1977年3月18日

趣味／特技： プチリフォーム

座右の銘： 七転び八起き



4月から“なごみの郷” 特養で勤務しています、村上です。

これまでは、市内のクリニックの外来勤務で主に働いてまいりましたが、以前から福祉施設での勤務に思いをはせながら希望していました。そんな中、ご縁をいただいた“なごみの郷”で働かせていただくことになりました。

入職して2ヶ月が経ちますが、初めて経験する環境、業務にとまどうこともたくさんあります。でも入居者様、利用者様、なごみの郷スタッフに信頼され安心感を与えられる看護スタッフを目指して頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

名前 後藤 直美 (ごとう なおみ)

担当部署／役職名: デイサービスセンターなごみの郷

生年月日: 1974年5月11日

趣味／特技: DVD鑑賞・ショッピング

座右の銘: 初心忘れるべからず



私は介護のお仕事をするのは初めてです。そんな私がなぜ働きたいと思ったかということ、利用者様のお手伝いがしたい、少しでも役に立ちたいという気持ちからでした。今では、「ありがとう。」「楽しかった。」と笑顔の利用者様が見られることに嬉しさを感じています。

スタッフの皆様にも支えられ、ご指導いただいています。体力的にも精神的にも大変なこともありますが、今以上に積極的な姿勢で一人ひとりと向き合い、支援できるよう努力します。利用者様の思いを叶えたい。家族様の心を支えたい。この思いを大切に頑張っていきたいと思えます。



名前 岡崎 恵美 (おかざき えみ)

担当部署／役職名: メゾンクリアなごみ(訪問看護) 看護師

生年月日: 1971年8月7日

趣味／特技: 音楽鑑賞

座右の銘: 毎日一步一步



4月に入職しました。分からないことだらけでスタートした訪問看護でしたが、少しずつ仕事に慣れてきて今では楽しくお仕事させていただいています。利用者様に満足していただける看護が提供できるよう頑張っていきます。

取り柄があるわけではないのですが、利用者様とのコミュニケーションを大切にして優しく接することが私のモットーです。末永くよろしくお願ひします。



名前 高松 真理子 (たかまつ まりこ)

担当部署／役職名: メゾンクリアなごみ(訪問看護) 看護師

生年月日: 1966年5月10日

趣味／特技: 野球観戦、ヘアメイク

座右の銘: 一生懸命



メゾンクリアなごみのオープンと同時に入職いたしました看護師の高松真理子です。訪問看護は今までお手伝い程度でしか関わったことがなく、本格的に従事することは初めてです。何もかもが勉強で介護保険の知識は以前の職場でも学んできましたが、それぞれに違いがあり、日々新しいことを学んでいます。

利用者様やご家族のために何ができるのか、自分の身内だったらどうして欲しいかを考えながら介護や看護に努めていきたいと思っています。まだまだ未熟ではありますが、私なりに一生懸命頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

7月のお誕生者さま

氏名	生年月日	年齢	地区
竹本 工三子 様	昭和23年7月1日	69歳	落合
屋敷 尊幸 様	昭和8年7月2日	84歳	落合
高岡 みや子 様	昭和4年7月4日	88歳	落合
宮崎 節子 様	昭和10年7月5日	82歳	落合
正木 義光 様	昭和14年7月6日	78歳	落合
杉岡 政明 様	昭和8年7月11日	84歳	落合
村本 實盛 様	昭和6年7月14日	86歳	落合
戸田 三代子 様	大正15年7月17日	91歳	落合
馬淵 由利子 様	昭和9年7月17日	83歳	落合
岡野 秀規 様	昭和19年7月19日	73歳	落合
応野 平子 様	昭和5年7月20日	87歳	落合
丸岡 キク工 様	大正10年7月20日	96歳	落合
井東 洋 様	昭和8年7月24日	84歳	落合
石井 公子 様	昭和7年7月25日	85歳	落合
増村 ミサ子様	昭和4年7月25日	88歳	落合
脇坂 和俊様	昭和21年7月27日	71歳	落合
波谷 武子様	昭和6年7月29日	86歳	落合
村松 早苗様	昭和17年7月29日	75歳	落合
井原 清様	昭和11年7月12日	81歳	可部
持田 忠勝様	昭和18年7月30日	74歳	可部
清水 行男様	大正14年7月20日	92歳	亀山

お誕生日おめでとうございます。
みなさまこれからもますますお元気で！！

生き生き暮らす若返り教室



日 時: 7月 4日(火)
 7月 11日(火)
 7月 18日(火)
 7月 25日(火)

いずれの日程も
 13:15~14:15

内 容: いきいき百歳体操

場 所: 特別養護老人ホームなごみの郷 2F

持ち物: タオル



車での来所
 も可能です

送迎について
 送迎をご希望の方は、前日
 までに“なごみの郷”に
 ご連絡ください。
 TEL: 082-841-1335

主催: 広島市口田地域包括支援センター
 TEL 082-842-8818

家族会会計報告

平成29年5月度

日付	摘要	収入	支払	差引残高
5月1日	前月より繰越	207,038		207,038
5月10日	ピアノ喫茶		1,534	205,504
5月19日	なごみどり		7,169	198,335
5月30日	なごみどり 参加費(30名分)	15,000		213,335
	合 計	222,038	8,703	213,335



<かわら版のお知らせ>

弊誌では、皆様の心の呟きをお待ちしております。日々の出来事を感じたこと、伝えたいこと、独り言、短歌、川柳・・・などなど。
 また、利用者様、ご家族様からのご要望、ご意見がございましたらどんどんお寄せください。お待ちしております！ 職員へお気軽に申し付けください。

あとがきではないけども…

7月、文月、JULY(ジュライ)。ゴーヤ、冬瓜、そうめん、南瓜、枝豆、オクラなどが旬。ビールに合わせて夏バテ予防に唐辛子や茄子も美味しいシーズン。体調も鑑みて旬の美味しい野菜をもしっかり食べたいところ…。

ところで先日、トランプ米大統領が温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」からの離脱を決めた。大多数の科学者は、人間活動が温暖化を深刻にするという考えを支持するものの、予測の不確実さなどを問題視する一部の研究者が政府と癒着して影響力を増しているのだ。

この「温暖化懐疑論」の賛否をいろいろと調べてみると面白い。

懐疑派は、温暖化の科学的根拠に疑いを投げかけ、二酸化炭素(CO₂)の増加は問題どころか「食糧生産に役立つ」とか、「大気中のCO₂は増えているのに気温が予測通りに上がらない「ハイエイタス」現象が起こり1998年から十数年間、温暖化が止まったようにみえた」などの持論を展開。

一方で確信派は、世論の多数を占め、地球環境の保護を訴えている。例えば代表的なのが「国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」だ。国連の関連機関によって設立された組織で、世界の科学者が発表する論文や観測・予測データをまとめて科学的な分析を行うほか、社会経済への影響、気候変動を抑える対策なども盛り込んだ報告書を作成する。それによると、地球温暖化の原因は人間活動が支配的な要因であった可能性が極めて高く、大気中のCO₂、メタン、一酸化二窒素は、過去80万年間で前例のない水準にまで増加していると示す。また、将来予測として、今世紀末までの世界平均地上気温の変化予測は0.3~4.8℃である可能性が高く、CO₂の総累積排出量と世界平均地上気温の変化は比例関係にあり、これからの数十年でより多くの排出を行えば、その後はより多くの排出削減が必要となると綴る。

さらに、将来的なリスクが予測されている。海面上昇による沿岸での高潮被害、大都市部への洪水、異常気象現象によるインフラ等の機能停止や疾病などがそれだ。

小生が子供のころを思い出すと、父親の故郷の島根県邑智町(現在の美郷町)へ真冬に行くと膝下あたりまで雪が積もっており、カマクラなんてわけなく作れる雪量があった。その昔、広島市内から最も近いスキー場と言われていた「志路原スキー場」(山県郡北広島町)は、現在は真冬でも雪は少なく廃業して今は無い。母親が編んでくれた毛糸のスキー帽を被って竹のストックで滑っていた思い出がある。もちろんスキーリフトは無く、回転ロープにつかまって登るタイプで下手をすれば手が摩擦で怪我をしてしまう代物だ。今思うと懐かしいが、温暖化とともに雪不足になった結果だ。

また一方で、現在の夏について、日最高気温が25℃以上の日を「夏日」といい、30℃以上の日を「真夏日」という。さらに35℃以上の日を「猛暑日」といい、夕方から翌日の朝までの最低気温が25℃以上になる夜のことを「熱帯夜」といって健康被害を警戒する。そんな区分けは、昔はなかった。今ほど暑くはなかったのだ。ただ昔は30℃を超えたらメディアが報道するし、小学校でも水分や休憩の促しをしていた。その気温でもモーレツに暑かった記憶だ。気温から判断しても実際に昔は今ほど暑くはなかったのだ。そんな変化が現実としてある。そう考えると、温暖化の影響は間違いなく、我々の生活に変化をもたらしていると言えるだろう。皆さまも何がしかの変化を実感しておられるに違いないだろう。この現実をどう捉えればよいのだろうか。

ともあれ、地球は大切であり環境への配慮も必要と思いをめぐるこの頃である。

合掌

矢矧 秀樹 拝

STAFF 発行所 / なごみの郷 おたっしやかわら版編集部

〒739-1732 広島市安佐北区落合南町196-1

T e l 082-841-1331

F a x 082-841-1336


U R L <http://www.nagominosato.jp>

E m a i l nagomi@nagominosato.jp

★ 発行人 / 矢矧 秀樹

(当紙面は、個人情報保護法に基づき、掲載させていただいている個人の名前・写真などは、全てご本人様又はご家族様に了承をいただいております。)

なごみの郷 スローガン

 **元気で明るく家族と共に自立支援**

～イキイキとした生活作りをお手伝いいたします～

平成29年スローガン

つなげよう思いやり 伝えようありがとう 感謝の心が育む笑顔

地域の愛
家族の愛
笑顔あふれる感謝の祭り16

第16回なごみの郷

夏祭り

楽しいゲームも
たくさんあるよ!

7月22日(土) 13:30~17:00



場所 なごみの郷施設内
駐車場 落合小学校グラウンド (送迎あり)
販売 チケット制 (一部模擬店現金販売)
 お蕎麦・たこ焼き・ポテト・チキンナゲット・お好み焼き・
 アイス・綿菓子・フランクフルト・チヂミ・揚げもみじ・
 ジュース・ビール・ノンアルコールビール他

プログラム

13:30~ 開会式
 バルーンアート(ハートントン)
 14:00~ 和太鼓(彩響)
 14:30~ 神楽(青神楽団)
 16:00~ カラオケ大会
 17:00~ 閉会式

バザー物品
大募集
 夏祭りボランティア
 社会福祉法人 正仁会
なごみの郷
 広島市安佐北区落合南町196-1

<http://www.nagominosato.jp> TEL: 082-841-1331



特別養護老人
ホームなごみの郷